

## 会 議 記 録

会議名称	第4回社会教育委員の会議
日 時	平成28年10月27日(木) 午後5時30分～午後7時22分
場 所	東棟6階 教育委員会室
出席者	委員/藤川、天野、朝枝、小出、岩崎、多田、内山、笹井 区側/生涯学習スポーツ担当部長、生涯学習推進課長、スポーツ振興課長、中央図書館次長、社会教育推進担当係長(社会教育主事)、教育連携担当係長(社会教育センター社会教育主事)、管理係主査、管理係主事、社会教育センター主査
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第3回社会教育委員の会議 会議録(案)</li> <li>2 「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」実施報告について (委員のみ報告書本体の配付)</li> <li>3 「杉並区実行計画」改定案(委員のみ)</li> <li>4 「施設再編・整備計画(第一期)・第一次実施プラン」改定案 (委員のみ)</li> <li>5 杉並第四小学校の活用について</li> <li>6 今後の生涯学習事業の展開に向けた検討(意見概要)</li> <li>7 第14期杉並区社会教育委員の会議まとめ(案)</li> <li>8 すぎなみ教育報 No.222</li> <li>9 ナンデ留学…!?</li> <li>10 みんなで話そう!考えよう!</li> <li>11 青少年委員だより</li> <li>12 すぎ☆キャン! Vol.3</li> <li>13 はじめてのLGBT</li> <li>14 杉並区犯罪被害者支援のつどい</li> <li>15 とうきょうの地域教育</li> </ol>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>I 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 会議録の確認について</li> <li>2 「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」実施報告について</li> </ol> </li> <li>II 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 杉並第四小学校の活用について</li> <li>2 今後の生涯学習事業の展開に向けて ー第14期杉並区社会教育委員の会議意見まとめ(案)について</li> <li>3 今後の進め方について</li> </ol> </li> <li>III その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○次回日程について</li> </ul> </li> </ol>

## (意見要旨)

- 議長 定刻になりましたので、第4回目社会教育委員の会議をはじめます。  
(生涯学習スポーツ担当部長あいさつ)
- 議長 ありがとうございます。まず資料確認を事務局にお願いしたい。  
(社会教育推進担当係長(社会教育主事)説明)
- 議長 配布資料の中で質問などは。  
(なし)
- 議長 では、中央図書館改修を考える区民ワークショップ報告をお願いしたい。  
(中央図書館次長説明)
- 議長 ありがとうございます。何かあれば。
- 委員 3回は短いとの意見もある。結果がどう反映されるかに疑問があるので、どういう手続きで決定するのかを打ち出した方が納得されると思う。
- 中央図書館次長 ありがとうございます。
- 議長 ほかにどうか。よろしいか。  
(なし)
- 議長 では、2番目の協議事項に移りたい。杉四小の跡地活用について。
- 生涯学習推進課長 区では、平成26年3月に杉並区立施設再編整備計画第一期・第一次実施プランをまとめた。今般、その改正を行うため、9月にパブコメをしており、出た意見についてのご説明を付して、公表することになっている。その中で統合後の杉並第四小学校跡地は、高円寺地域における新しい学校づくり計画の進捗状況に合わせ、改定案の中身について、社会教育委員の会議等の議論を踏まえ、次世代型の科学教育の拠点で行っていた出前型・ネットワーク型の事業を、幅広く生涯学習の事業全般で展開することを反映した記述となっている。社会教育委員の会議では、施設再編で生み出された場所と話してきたが、次世代型科学教育の新たな拠点をはじめとする生涯学習環境の充実を、統合後の杉並第四小学校跡地において展開していきたいとして、はじめて「杉四小跡地」を特定し、駅から至近な距離にあり、区民が集まりやすいことも踏まえての記載となった。実施スケジュールは、26、27、28年度と検討を進めるとしているが、29年度に基本計画を立てながら、30年度には次世代型の科学教育の拠点とそれ以外の生涯学習全般の拠点、さらには、複合施設として保育所の機能、阿波おどりの練習会場等も考えていく予定である。今後の生涯学習事業の展開に向けて、今までの会議で出た議論や内容を加えてまとめた資料を作成したので、あわせて説明をし、科学教育関係団体や社会教育委員会の意見も踏まえて進めるようにしていきたい。
- 社会教育推進担当係長(社会教育主事) 今回の会議資料として「今後の生涯学習事業の展開に向けてー第14期杉並区社会教育委員の会議のまとめ(案)ー」を作成した。昨年度から科学館の後の事業展開を社会教育センターのプロデュースにより実施し、区の生涯学習全体の軸として、科学教育の流れを参考にして考えることはいい方法や方向を見出すことにつながるのではないかとのことから、会議でもご意見をいただいていた。
- 資料は、これで固定する段階ではないが、同時並行で計画化を進めているため、会議のご意見をふまえつつ、何らかの形で入れ込めればという思いも

あり、社会教育行政の充実を図る意味から、このまとめが一定の役割を果たせるようにしていくことを踏まえた記述にしている。

1年目の会議で次世代型科学教育の展開を、2年目には、それを踏まえ、さらに分野を超えて広げていく考え方についてのご意見をいただいている。それに加え、区の計画改定とタイミングが合った中でどんなことがあったのか。「はじめに」は、その入口設定の中身である。

一つ目に出前型・ネットワーク型は、社会教育事業の展開に目を移すとどんなことが言えるか。杉並の生涯学習の拠点は、社会教育センターとなり、さまざまな機能を持っている大規模施設だが、前身だった公民館の事業を継承したが、その後、社会教育施設が充足されず、施設にこだわらない区民対象事業を行っていた。公民館は、社会教育法に規定されているが、杉並の中では、独特な歩みをした経緯がある。が、1館だけでの機会提供が難しく、高井戸青年館、和田堀会館、下井草の出張所、民間施設であった東邦信金の会議室等を使って実施することを、昭和54年頃から始めている。こうした過去が、今回の出前型・ネットワーク型に流れとしてつながるとも言えるのではなかろうか。また、社会教育センター設立時は、区内に3青年館があり、当時の都内の事情として、青年教育の重要性、特に地方から東京に働きに出てくる若者たちに学びを提供する必要性もあり、青年対象の社会教育の充実に着手された。しかし、当時の若者の年齢層が高くなり、平成元年の社教センター設立でこれを分館と位置づけ直すとともに、青年対象事業も一般区民向け事業としてリスタートした。3館を使った事業展開をした歴史もあったのだが、社教会館が閉館となって社会教育施設単独で地域に根を張ることは難しくなり、1館しかない社会教育センターに出前型・ネットワーク型という発想を改めて持ち込む根拠にもなる。

二番目は、科学教育事業を、区民に対して積極的に展開していく場面を捉え、皆様方との会話で出たキーワードや、科学館に行かないと学べなかった内容、行っていた事業をどう変えたかの結果を概要として書いている。プラネタリウムなど施設に付随したものは、移動型にして順次展開をしたり、移動式天文台車により、観望会ができる場所を探しながら区民の人と一緒に実施することに切りかえたり。科学館の名誉館長としてご協力いただいた小柴先生を紹介する展示も移動式に改修し、事業実施の際に内容を更新した掲示にして行っている。科学教室は、フューチャーサイエンスクラブという名前に改め、夏休みに区内の中学校の会場を借り、学校ではない学びの場とし、科学をテーマで実施した。今年度からは、小学生版のフューチャーサイエンスクラブも加え、学校を会場として実施した。この成果をサイエンスフェスタで発表してもらい、連続性を持たせる展開も図った。すぎなみサイエンスフェスタは、2,000名を超える来場者があり、インパクトがあったこともあり、様々なところに積極的にPRしていけばという声もいただき、これがきっかけとなって出展団体がほかの場所で実施される取組の担い手となったり、学校の授業と連動して土曜日授業で実施されたりするなど、これまでと違った動きをつくってきた1年目の展開だった。

三番目はそのことを踏まえ、これからの社会教育で教育委員会としては、どこに最も力を入れるかなど今後の展開を考える際に、出前型・ネットワーク型を絡めて捉えようとするなら、すぎなみ大人塾の事業で杉七小や杉十小あるいは特別養護老人ホームに出向き、実践の機会を提供するための、だが

しや楽校の一部をもとに切り開く努力をしている。具体的な場での実施で、課題の共有が図られれば、結果として相互のコミュニケーションにも役立ち、生涯学習での学びや地域を担っている人とともにということが可能になる。この考え方は、杉並区の教育ビジョンの内容に近づくことにもつながり、生涯学習全般の学びの中で、出前型・ネットワーク型をしていくという努力をさらにしていきたいということをもとめた。

四番目番は、あくまで次世代型の科学教育の拠点を中心とした発想で、検討の一つの案として、杉四小跡地を中心につくることを検討しているが、生涯学習という分野の中で、科学教育以外にも広げるなら、拠点を担うための機能が必要になるため、区民による生涯学習・社会教育が地域での活性化を期待しつつ、拠点の機能の拡充が不可欠である。今のままで出前型を広げればいいわけではないという課題提起をしている。実は、平成元年に設立されたセシオン杉並は、高円寺地域区民センターと複合施設で、社会教育センターはその一部のみであり、バックヤードを含めた生涯学習全体での出前型・ネットワーク型事業を支えるのは難しいことがある。社教センターの一部分を改修したらどうかというご提案もあると思うが、社教センター部分を含め、セシオン杉並全体の区民利用率がかなり高く、これを縮小することはサービスの低下につながるという議論もあり、これは積極的に維持していくことが必要である。こうした施設事情のもとでは、社会教育センターの貸し館機能的な部分は維持し、出前型・ネットワーク型の拠点の整備は、別なところを設けてうまく使いながら連動して構想していくことに意味があると考えた。そのために、施設再編整備計画の中でこの文言を入れ、今後は具体化を図るために皆様をはじめ広く区民の意見を聞きながら検討をさらに進め、これから高齢化を迎える社会の中にあり、この計画を具体化する際は、社教センターの果たしてきた役割や拠点の機能というものの充実を図れるように運びたいということが望みとしてある。

- 議長 ありがとうございます。率直な意見や知恵をいただければ。
- 委員 出前型は「出張する」と明確だが、ネットワーク型の定義は。
- 生涯学習推進課長 サイエンスフェスタは、27年度に約25団体の新しい科学に関係した方々や企業も含め、ネットワークができた。それを活用していくことがある。例えば、工学院大学八王子キャンパスの科学を専門に学んでいる学生50人くらいで、サイエンスフェスタのミニ版、サイエンス縁日をやった。短い時間だったが、600人くらいの区民の方が集まられた。学校も各種の科学教育団体も企業もネットワークを活用してやるのがネットワーク型、なおかつ場所も、別の場所に出向くということもあろう。
- 委員 どうしても疑問が残るのが、今回、科学館がなくなったことによって、出前型・ネットワーク型ということ売りやって新たな構想の中に、杉四小跡地にその新しい拠点をという話では、整合性が見えない。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） そこが悩ましい部分で、昨年度この拠点についての業務委託報告書をもとに、科学館にかわる新たな拠点のイメージをサイエンスフェスタの実行委員会に参加した団体と共有する意味でやりとりをした。

わかったことは、建物自体に限界があるということ。なぜ新たな場所をまたつくるのかについては、場所の専門性。水を使う、火や煙や音が出るといったものは公共施設の貸し出し施設は一切できない。科学の学びにはどうし

でも伴う行為で、細心の注意を払っても限界があり、セッションがそれに耐え得る施設であれば話は別だがそうではない。自分たちの活動を安定して受け入れてくれる場所はどうしても欲しいということだった。また、公共施設では時間制限があり、仕込みも含めて時間内で処理しなくてはならず、実験の準備に時間をかけることもできにくいため、事前に仕込んでから持ち込むことになる。もし、オープンスペースがあり、学んでもらうための仕込みをする場所があれば、そこにまた関心のある人が集まれば、切磋琢磨して刺激にもなるので、そうしたスペースは欲しいとのことだった。地域レベルで自分たちサイズでのアナログの関係性を意識する取組を準備できる場所という意味で拠点が望まれた。

- 生涯学習推進課長 科学館と同じものを新たに杉四小につくり直すのではなく、出前型・ネットワーク型の拠点をどこかに整備しなくてはいけない。当面の拠点は社会教育センターだが、複合施設の一部で、ホール、展示室、一部集会室部分のみでバックヤードがあるわけではない。知識と学びを高め、集えるネットワーク作りの場は必要ではないかと考えている。
- 委員 出前型には、区民に自分たちが行くイメージで、それを大事にしていくが、一般の施設では担えない部分を拠点が担うというすみ分けがはっきりするとわかりやすい。
- 生涯学習推進課長 昨年の次世代型の科学教育の拠点への考え方から大きく変わっているわけではなく、実験室や工作室は整備し、出前型でもって関心を持ち、学びたい方に対して情報を提供するライブラリーや関係の方が集まれるカフェのような部分の設備があると良い。
- 委員 跡地の活用は、更地でなく建物をそのまま残してということか。
- 生涯学習推進課長 小学校ではなくなった後の場所ということか。
- 委員 イメージとして、拠点はつくるが、このまとめが扱うのは、その前段でどちらかと言えば仕組みの問題だと思う。仕組みを実現するコーディネーターや地域の人材の担い手は、この科学教育を担っている人ではなく区民だと思う。いかに科学が好きな人たちに参加してもらうかが、役所だけではできない協働の姿だと思う。大人塾で地域に出ていくことと一緒にできないと思う。
- 副議長 水や火や音が公共施設では出せない。自然科学のいろんなリアリティーのようなものが、どんどん人間生活から遠くなっているような気がする。水も使えて火も、そして音を出しても周りから苦情が来ないような防音設備が整った安全な場所を都会の真ん中に確保して、リアリティーを感じる場は科学を理解するためには絶対必要だと思う。
- 委員 杉四小跡地が、科学教育の拠点になるというイメージと、社会教育センターの一方の社会教育を担う拠点にもなることの理解は、主に科学教育の推進の場になるということか。科学を使っても、その地域の人たちと結びついて何かする場であったりとか、人と人のリアリティーも感じるような場にしていかないと、科学教育の団体たちが好き勝手にやって、自分たちがやっていることを出前していくというよりは、そこにやりとりがあったり、そこから地域の人たちが入り込めるような何かがあったりすれば、学校でなくなった後も地域の拠点として、ここの跡地が利用されるのだと思う。科学教育のためだけにまた施設をつくるのではなく、仕掛けの中で地域とも関連していくところがあればいいのではないかと思った。

- 議長 科学教育と社会教育は違うが、重なる部分がある。それぞれが持っているよさを組み合わせて杉四小跡地の活用につなげたいと思う。その際、社会教育性が何かと言えば、地域とのかかわりや実在的なものが人間の成長にとって意味を持ち、地域とのかかわりや出会い、他では得られないリアリティーの実感を得る場という意味もある。
- 委員 教育ビジョン的には、子供を見つけ出し育てる発想がいいと思う。例えばライブラリーという話もあるが、科学に特化した図書館、専門書を置くなど、好きな大人は勉強しに來たり、子供たちがわからないことを聞いたりできれば、世代間の交流にもなる。実験で興味を持ったら勉強し出すなど、その先を見せることができればと思う。
- 委員 認可保育所の整備や杉並保育緊急対策も打ち出されるような中でも、子供の声が騒音だというニュースもたくさん流れ、保育所の建つ場所がないということが課題になっていると思う。小学校があったところだと、長年子供たちの声を耳にされている近隣の方もいるので、おそらく大丈夫だというのはあると思う。小学校でなくなったのに保育園かと思われては困るが、拠点で小さな子供たちが一生懸命何かをやっているところを見に来る高齢者への理解をすとか、小さな子供と同じように目を輝かせながらカブトムシを見ていたり、阿波おどりなどの世代を超えて一緒に活動できるような場所ということが特にあまり出ていないので、近隣の住民の方々がどうなっているかわからないと思う。杉四小がなくなったことのデメリットにならない打ち出し方をされていくと良いと思った。
- 委員 大きなスペースは必要なく、トンボのふ化が見られるビオトープもあるといい。実のなる木を1本ずつ植えて、実がなっていく喜びと1年を通じて四季を感じるなどができればいいのではないか。
- 議長 なるほど。物理や化学というより、今のような身近な自然、自然生物、子供や保護者を念頭に置いた形の活用をしてもらおう。すると社会教育施設としての魅力も出る、これは何度か議論が必要だ。
- もう一つ、社会教育センターの役割機能について、何かご意見があれば。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 例えば地域にお祭りがあって、一緒になってネットワークを組み、お祭りをやりながら他のこともやるようになるなど、きっかけはいろいろあるのではとのご指摘を以前いただき、その通りだと思った。科学もそうだが、あるものを生かす、既に動いていることに期待するという考え方は一つあるが、それは待っていたらわからず、出ていかなくはわからない。コミュニケーションがないと、ネットワークはできない。データはできても、先ほどのリアリティーでいうなら、それだけではなく、この地域のあの人がいいなど、目鼻のつけられるようなことは、やはり知り合っなければできず、この拠点の仕事は、拠点の上に成り立つ仕組み、あるいはその活動が具体的に見えてこないとわからない。そうでなければ、地域の中での活動や行動の方針がないため、どんどん内に籠ってしまい、これまでとは変わらないことになり兼ねず、それは望むところではないだろうと思う。
- 議長 なるほど。いわゆるコンセプトですね。他にご意見はいかがか。  
( なし )
- 議長 これで閉会する。ありがとうございました。